（）（）

　　（―）

　　のの（―）

　　（）

はである

は、ではなくや、などのきやのをうのやをつである。をうろうにとって、は、こえるたちのとに、なのためのである。

しかしながら、は、にろうにおいてがされる、ろうにとってなとしてめられてこなかったいがある。そのため、ろうにとっては、らのでをることができないなど、やをむでなをなくされてきた。

ががしたのにする（）において、「「」とは、びそのののをいう。」とされた。これにより、はであることが、でくめられることとなった。

は、ろうがやをむでなであるにするのをめ、ろうがあらゆるでをし、をることができるをし、このをするものである。

（）

　このは、へののびのにし、をめ、のびにびのをらかにするとともに、にするのをめることにより、にするのかつなをり、もっててのがえい、にき、にらすをすることをとする。

（）

　このにおいて、のにげるのは、にめるところによる。

　ろう　をとしてはをむをいう。

　　にはをし、をうびそのの（びをく。)をいう。

　　（）にする、にする（をくものにる。）、（）にする、のどもにする、のなのにする（）にするこどもびども・て（）にするをうをいう。

　な　がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないものをいう。

（）

　ののは、がのにかかわらずのいをし、そのととをいにすることをとしてわれなければならない。

２　をするがしているのにじてをにるは、されなければならない。

３　のは、がのとをするであるとされることをとしてわれなければならない。

（の）

　は、のにのっとり、にげるをするものとする。

　「のデー」のをした、にするびのをするための

　ろうがをしてするがされ、をし、することができるのをする

　がするにおいて、のをめる

（の）

　は、のにげるにめるものとする。

　にするをめること。

　ろうが、をしてするがされ、をし、することが、ろうのびにとってであることをすること。

　にをすることをすること。

　のびのにるのにすること。

（の）

　は、のにげるにめるものとする。

　にするをめること。

　ろうが、をしてするがされ、をし、することが、ろうのびにとってであることをすること。

　ろうがをできるよう、なをうこと。

　のびのにるのにすること。

（の）

　は、のはのにおいて、にするののびしをうにたり、ろうびにそののびのをくものとする。

（の）

　は、にするをするため、のにおいて、なのをずるものとする。

　のの

（をぶの）

　は、びが、にするをめ、をできるをするため、とし、びにをぶをするものとする。

２　は、のをぶをするにあたり、びのになをうものとする。

（によるにするの）

　は、がにするのをるをするため、にし、の、なそのなをうものとする。

（によるにするの）

　は、がにするのをるをするため、にし、の、なそのなをうものとする。

（）

　こののにしなは、がめる。

このは、　　　　　　　　からする。